

花と緑の銀行だより

180号 2011.7



シロバナモウズイカ／富山市

目次	・花と緑の提言	2	・技術講座	6
	・市町村の事業紹介	3	・この人あり	7
	・活動事例	4	・お知らせ	7
	・緑づくりコーナー	5		



魚津市の緑化推進について

花と緑の銀行

魚津支店長(魚津市長) 澤 崎 義 敬

暑気日ごとに加わり、花菖蒲や紫陽花から、ひまわりや朝顔などの色とりどりの夏の花が咲いているのを見ますと季節の移ろいを感じます。

去る3月11日の東日本大震災におきまして、お亡くなりになられた方やご遺族の皆様には、心よりお悔やみを申し上げます。また、多くの被災者の方々にもお見舞い申し上げます。1日も早い復旧復興を心より願うものであります。

今年の夏は、節電要請もあり、いつもの夏よりも更に厳しい暑さとなりそうです。その厳しい暑さの中、地方銀行頭取やグリーンキーパーの皆様には、花と緑の普及啓発や地区の花壇づくり等に多大なるご支援、ご尽力をいただき感謝申し上げます。

さて、魚津市は、県東部に位置し、北東には布施川、南西には早月川、北西には富山湾が広がり、南東部は、最大標高2,415メートルに達する山岳地帯で、北アルプスに連なっています。市域の約70%が標高200メートル以上の山地で、森林に恵まれており、この豊かな森林が保水効果をもたらし、平地への雨の流出を防ぎ、様々な動植物の生命の保全はもとより、自然環境の保全や良好な景観形成の一翼を担っております。

その豊かな自然とふれあい、自然環境の大切さを学ぶ場として、平成21年10月に片貝川上流におきまして、片貝山ノ守キャンプ場を新設しました。周囲には「洞杉」、「蛇石」、「沌滝」などがあり、素晴らしい自然を体感できます。是非訪れていただきたいところです。

魚津市では、毎年4月に市民の皆様には緑化木、花苗を無償配布しています。また、小中学校・公民館・地区等に、5月は花苗、10月はチューリップの球根を配布し、頭取やグリーンキーパーの皆様が中心となり、地区の皆様と一緒に花壇や道路のプランター等に植栽していただいております。

中山間地では、6月に小学生を含め住民の皆様が休耕田にひまわりの種を蒔き、夏にはひまわりが一面に咲き景観形成の一環を担っております。

この様に、魚津市の緑化推進は、市民の皆様と行政とが一丸となって進めております。

今後も頭取・グリーンキーパーの方々や市民のご意見等に耳を傾けながら、緑化推進に努めてまいりますので、一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



蟹気楼

黒部市の活動紹介

花と緑の銀行黒部支店

農林整備課 課長 大藪 勝 志

花と緑の銀行黒部支店は、頭取14名、グリーンキーパー57名の合計71名で各地区の緑化活動を実施しています。

年間の活動内容としましては、春には緑化イベントとして「花と緑ふれあいデー」を開催し、市民の皆さんに花木の無料配布や花苗のプランターへの植え込みを行っています。また、市内の福祉施設や公共施設への花苗を配布し、地域花壇の花苗の植え込みや管理をしています。秋には再度花木を配布し、花と緑にあふれたうるおいのある街づくりを目指し、活動を展開しています。

その活動の一部として、石田浜には海岸道路沿いに全長900mにも及ぶフラワーロードがあります。海岸沿いの花壇にとって、1番の敵は潮風ですが、海からの強風や塩害の影響を受けにくいシャリンバイや浜菊などの植栽に工夫を重ね、四季折々に様々な花を植栽しています。その努力は県内外から訪れる観光客の目を楽しませてくれます。また、緑化活動にとどまらず、海岸のゴミ拾いや海岸清掃を行い、海岸の環境美化にも取り組んで活動しています。



石田浜フラワーロード

前沢カンナロードにおいても、春の定植式と秋の球根掘り、花壇の管理などカンナや花苗の植栽を毎年地域ぐるみで行っています。春に植えたカンナは7月になると鮮やかな赤色の花が

咲き誇り、夏の陽ざしによく映え、道行く人々の目を楽しませてくれます。

中新地区にあるフラワーロードでも5月第4日曜日に行われる名水ロードレースに併せて、植栽が実施されます。早朝より地域住民の皆さん



で花苗の植え込みを行い、全国各地から参加されるランナーをお迎えしています。

また、各地域においても地域の緑化を守るため様々な工夫と努力を行い、県内外から黒部市を訪れていただく観光客を温かい気持ちでお迎えするため活動を行っています。

地球環境の温暖化や高齢化社会を迎え、厳しい環境の中で花壇を維持管理していくことは容易ではありませんが、豊かな自然を守り、花と緑にあふれるふるさとを次世代に残していくためにも、市民と行政がひとつとなって緑化運動をすすめていきたいと考えております。



花と緑ふれあいデー



地域の憩いの場と会の活動として 「テトラポッド花壇」づくり

滑川市 田中梅花福寿会会長 嶋川 寛

田中梅花福寿会の本年度の会員は86名で、春秋のテトラポッド花壇づくりを主要な活動として、置県100年記念事業を契機に、昭和48年から取り組んでいます。この花壇は、地鉄中滑川駅前に位置し、三方を道路に囲まれ、交通量の多いところです。花壇中央にテトラポッドを据え、夏場には噴水をあげて涼風と海のまち「滑川」を表現しています。花壇の中央にはベンチもあるので、花を眺めながら和める地域住民の憩いの場となっています。

本年は、福寿会の役員を中心に、5月27日に花を抜き取り、肥料を施し、畝づくりをし、6月3日に約800株の花を植え付けました。三角形の花壇なので、どの方向からも見栄えするように、赤・黄・白などの配色、花木の高低など、会員相互がワイワイ言いながら作業をしました。

田中町は6区制なので、これから各区が月毎に当番となり、水やりや草むしりをやっていきます。当初は各戸からバケツで水を運んだり、近くの川から揚げていましたが、市で水道を引いてもらったので、現在では楽になりました。また、近くに消防資機材倉庫が設置されており、そこにあるスコップ等も利用させてもらっています。

福寿会の歴代役員を中心に会員の努力により、約40年、通称「テトラポッド花壇」づくりが行われてきました。役員交替時に「会の活動としての花壇づくりをやめたら」という意見が出たこともありますが、花壇づくりを引き受けた経緯や、花と緑の銀行理事長表彰の栄誉を受けた活動は引き継いでいくこととなり、現在に至っております。

最後に、今後は地域住民の高齢化が進むことから、福寿会の会員は増加していくものと思われますが、地域の環境美化、会員の健康と親睦をはかる活動として、花壇づくりを続けていきたいと思えます。また、過去に町内の子供達が参加したことがあり、世代間交流を考え、児童クラブや保育園児との共同作業を秋の花壇づくりで検討したいと考えております。



花壇の土を拝見

砺波市庄東小学校花壇…花壇の土づくりの参考に

普及研修部 提 義 房

与えられた立地条件の中でより良い花壇の土を作り上げて、草花が生き活きと期待に応えてくれるのはうれしいことです。このコーナーでは現場の花壇の土層の状態と物理性（固体、水、空気の割合）、化学性（pH）について概観し、どのように土づくりを進めれば良いかについて検討していきたいと思えます。

1. 花壇の位置

庄東小学校は、音川丘陵を庄川に向かって下り、旧庄川河川敷の川に近いところに位置している。旧河川敷の丘陵側は粘質で排水の良くない土壌が分布し、川に近いところは耕土の浅い位置から礫が出現する砂の多い土が分布していて、学校はちょうどその境目くらいにある。花壇は道路から一段下がった位置で、平成元年に山土の盛り土をして造成したものである。

2. 土の状態

花壇はコンクリートで8区画に仕切ったもので、一番手前に40cmの勾配がある区画があり、ほかは平らな区画になっている。調査前の二日間は降雨もなかったが、足を踏み入れた時に通路や花壇の中を含めて全体的に湿っぽい印象でした。調査は勾配の中間部分とその後の区画（全体の代表的な区画）で行った（写真1）。



写真1 花壇の形状と土層

①土層

傾斜区画の土層は全体的には砂の多い土で、後区画と同様に、一層は堆肥の施用で有機物も多くなっている。作土深は15cmと浅いものの有機物は少ない

が2層目の47cmまでが柔らかく、根は28cmまで伸長している。土の色は二層目までは花の生育に好都合な酸化的な色合いである。全体的には土の排水や通気を助けるような構造の発達は弱い。

後区画は、傾斜区画と同様に砂の多い土で、作土深が15cm、二層目が30cmまでである。ただ、二層目は、三層目以下と同様に根の伸長が容易でない程の硬さになっていて、根の分布も一層の直ぐ下の20cmまでである。三層目以下には鉄の酸化物の沈着が見られるが、これは土層が還元状態になっていて、花の生育には好ましくない条件にあることを意味している。これを解消するには地下へ水が浸透するようにしなければならない。

②物理性（土の固体、水、空気）

花壇では固体50%、水25%、空気（気相）25%、孔隙率50%（水と空気の合計、水と空気は入れ換わるため）程度を目標にするが、傾斜区画と後区画の作土層の空気の割合は20%前後で、二層目になると11~14%と低くなっている。畑作物は気相15%以上が必要と言われていることからみると十分とは言えない。孔隙率が50~60%あるので相対的に水の割合が多くなっている。

③化学性（pH）

pHは傾斜区画の一層、二層がそれぞれ7.1、7.7で、後区画の一、二層が7.5といずれもアルカリ側になっている。多くの草花が5.5~6.5で良く生育することから少し高いと言える。例えば酸性を好むグラジオラスやコリウスにとっては快適とは言えないだろう。アルカリ資材の施用量を控えることが必要である。

3. おわりに

立地条件から十分な排水がとれる条件にはない中で、上で見てきたような要因をカバーするには、当面、アルカリ資材の施用を控えながら、土が乾燥気味の時に有機物を入れて出来るだけ深く耕し、排水や通気のために土が粒状や塊状になるのを促していくことが重要である。

早く調査をさせていただいた学校関係者と協力いただいた県農業研究センター土壌・環境保全課の皆さんに感謝したい。

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン

クサキョウチクトウ

職藝学院

教授 渡邊美保子

クサキョウチクトウは、イギリスの宿根草ボーダー花壇ではおなじみで、たくさんの園芸品種があります（写真1）。宿根フロックスとも呼ばれています。茎は地面から直立して伸び、草丈も60～100センチほどになりますが、支柱の必要もないので重宝されて、花壇では後の方に配置されます。



写真1 3種類のクサキョウチクトウ(中央)。中央植物園

新芽は4月になると地面から数本のびはじめます。1ヶ月もすると、お行儀のよいまっすぐな茎が目立ちはじめ、6月の中旬には明るい緑色の葉をつけた茎の先に、とんがったつぼみの集団が現れます。花は6月下旬には咲き始め、8月頃まで楽しむことができます（写真2）。ぎっしりと詰まったつぼみの一つ一つはらせん状に閉じていて、色づいてくるとソフトクリー



写真2 うどんこ病に強い昔からある品種。 職藝学院

ムのような形に見えます。花は一斉に咲いて、しばらくすると花がぼたぼたと地面に落ちて茶色くなります。もう終わりかなと思って、つい刈り込みたくなりますがそこはじっと我慢します。よく見ると次のつぼみの集団（2番花）が出番を待っています。咲き終わる頃に次のつぼみが準備をしていて、3番花、4番花と休み休み咲いてゆくので2ヶ月ほど楽しむことができます。

クサキョウチクトウは、3種類ぐらいの異なる色の品種を植え込みますと、自然交配し、こぼれ種があちらこちらから発芽します。雑草にまぎれているので間違えて引き抜いてしまいそうな姿ですが、これを気長に育てますと親とは微妙に違った花の色が咲き出します（写真3）。ただし、花壇の雑草を一本残らずきれいに取ってしまう几帳面な人の花壇ではお目にかかれません。幼苗の間は雑草の間で生きのびているからです。



写真3 こぼれ種から生まれた白と赤紫系統の交配種。 職藝学院

初夏から秋まで楽しめる組み合わせは、ヘメロカリス、クサキョウチクトウ、宿根アスター、シュウメイギクなどを混ぜて植え込むことです。6月から10月まで季節を追いかけるように花が咲いてくれます。



花丸くん花壇で地域づくり花づくりの輪

花と緑の銀行射水支店 新中孝子
新湊地方銀行頭取

中学校の情操教育の一環として花壇づくりが推進されています。この花壇づくりと周辺地域の住民の方との交流のお手伝いができればと思い、夫とともに活動しています。

花丸くん花壇は、射水市立新湊西部中学校にあり、平成3年にできた花壇です。花壇の面積は約56㎡で、形状は写真1にあるように、月と太陽と星を表しています。冬から春にかけて花壇の全体的なデザインを生徒の皆さんがされて、そのデザインに対して、花の色や植栽について助言をさせていただいております。現在は、マリーゴールドやベコニアを中心に植えていますが、将来的には数多くの種類の花苗を植えられればと思います。

この花壇は整美委員の生徒さんと新富町・庄東老人会の皆さんが、土づくりと花苗の植栽、朝・夕の水遣りや草取りなどの維持管理をしています。この活動が生徒さんと周辺地域住民の方々の交流の場となっており、すがすがしい朝の挨拶の声や世代を超えた会話もあり、たいへん微笑ましい光景です。学校花壇を見に来られる近所の方も多くなり、「学校周辺が憩いの場になっている」ともお聞きしています。また先生からは「花づくりを通して、生徒の心が明るくなった」と言われ、この活動をしてきてよかったと感じています。

今後も学校の生徒さんと地域住民の方々を中心にして、花壇周辺の環境をより良くできるようお手伝いするとともに、グリーンキーパーの皆さんと共にさまざまな場所で花づくりを通して住みよい地域づくりのお役に立ちたいと考えています。



写真1 月と太陽を表した花丸くん花壇



写真2 生徒さんと地域の皆さんで花苗植栽

〈お知らせ〉

「花とみどり・ふれあいフェア」を開催します

12月9日(金)から11日(日)までの3日間、「キラリ！ 冬の花飾り」をテーマに、中央植物園の「クリスマスフェスタ」と併催します。多数の入場をお待ちしています。



開会式アトラクション (写真は昨年のもので)



体験教室

ブログを始めました

花と緑の銀行のトップページ「お知らせ」に「普及研修部だより(ブログ)」とあります。クリックしてみてください。

表紙写真：シロバナモウズイカ (ゴマノハグサ科、富山市)

裏表紙写真：ムシトリナデシコ (ナデシコ科、富山市)



ムシトリナデシコ／富山市



花と緑の銀行だより 180号

発行日 平成23年7月

編集発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

再生紙を使用しています。